

『中国の“穴場”めぐり』

(日本僑報社) 刊行記念

藤村幸義 先生 講演会 & サイン会

【ガイドブックに載っていない観光地へのご招待】

日時: 2014年7月8日(火)

18時30分～(開場:18時00分)

※講演会終了後、会場にて書籍をご購入いただいたお客様を対象にサイン会を実施いたします。
(お持ち込みの本・色紙・グッズ等へのサインはできません。)

場所: 八重洲ブックセンター本店 8階ギャラリー

【推薦の言葉】本書の特徴は、単に景色が素晴らしいとか、観光的な価値があるとかいうだけでなく、紹介を通じていまの中国の文化、社会、経済の背景をも浮き彫りにしようと心掛けたことでしょうか。中には旅行社に頼んでも、簡単には行けないような場所もあります。

——元中国大使・日中関係学会会長 宮本雄二



【本書の内容紹介】

◆**広大な中国はまだ見ぬ「穴場」だらけ！**？悠久の歴史と広大な面積を誇る中国には、万里の長城や天安門広場、上海の外灘(バンド)など観光名所が多数あるが、このほかにたくさん「訪れる価値のある観光地」が存在する。本書では中国での滞在経験豊富なメンバーが、それら「穴場スポット」に関する情報を、地図と写真、コラムを交えて紹介している。

◆**ガイドブックにはない名所がずらり。**ホロンバイル、カラクリ湖、巴馬村…本書に登場するのは、最近まで外国人の立ち入りが禁じられていたところや、文化大革命で破壊され放置されていたところ、近年になりようやく観光地として整備され始めたところなど、これまでの市販のガイドブックではほとんど取り上げられてこなかったスポットを中心とする全30カ所を、手記を読むだけでも今の中国の文化や社会、経済の背景にまで触れることができる。

◆**「フジサンケイビジネスアイ」の人気連載を再構成。**本書の内容は「フジサンケイビジネスアイ」で連載されていた「FOCUS中国」を加筆、再構成したものである。執筆者は商社マンや大学教授、各省庁の職員、メディア関係者、留学生など日中関係学会会員を中心とする「中国マニア」とも言えるメンバーが中心で、彼らが自ら出向いて仕入れた、ほかではなかなか目にすることができない「ディープなネタ」がぎっしり収録されている。定番の中国旅行に飽きた人には旅行ガイドとして、また、中国に興味のある人には中国をより深く知る読み物として楽しめる一冊となっている。

◆**【特別収録】** 関口知宏が語る「異郷有悟」 日本との違いをかき集める旅—中国鉄道大紀行3万6000キロで見つけたこと。

《講演者紹介》



藤村幸義 (ふじむら たかよし)

1944年生まれ。日本経済新聞社北京特派員を経て87年に北京支局長。93年に論説委員。2001年から拓殖大学国際学部教授。2014年5月から拓殖大学名誉教授。
日中関係学会副会長(『中国の“穴場”めぐり』編著者代表)。
著書に『アジア経済に未来はあるか』(東洋経済新報社)、『老いはじめた中国』(アスキー書房)、『中国バブル経済のからくり』(勁草書房)など。

参加方法

- ▼参加費 : 無料
- ▼参加定員 : 100名(申し込み先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▼申込方法 : 下記のお申込書に必要事項をご記入の上、1階カウンターまでお持ちください。また、お電話によるお申込みも承ります。(電話番号:03-3281-8201)



主催: 八重洲ブックセンター 協賛: 日本僑報社